

**製品名: POLR2J1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16357**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	POLR2J POLR2J; POLR2J1; DNA-directed RNA polymerase II subunit RPB11-a; RNA polymerase II
別名	subunit B11-a; RPB11a; DNA-directed RNA polymerase II subunit J-1; RNA polymerase II 13.3 kDa subunit
遺伝子 ID	5439.0
SwissProt ID	P52435
免疫原	抗血清はヒト RPB11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

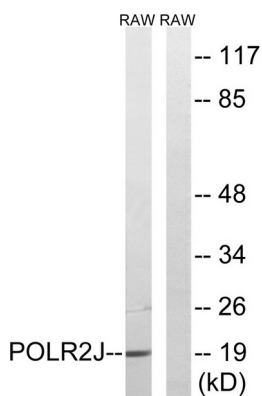
**背景**

この遺伝子は、真核生物においてメッセンジャー RNA の合成を担うポリメラーゼである RNA ポリメラーゼ II のサブユニットをコードしています。この遺伝子産物は、別のポリメラーゼサブユニットとヘテロ二量体として存在し、これらが一緒になってポリメラーゼのコアサブアセンブリユニットを形成します。2つの類似遺伝子が染色体 7q22.1 上に近接して存在し、擬似遺伝子が染色体 7p13 上に存在します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。mRNA 前駆体および多くの機能性非コード RNA を合成する RNA ポリメラーゼ II の構成要素です。Pol II は、基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構の中心的な構成要素です。Pol II は、互いに相対的に移動する可動性要素で構成されています。RPB11 は、中央に大きな溝を持つコアエレメントの一部です。類似性: 古細菌 rpoL/真核生物 RPB11/RPC19 RNA ポリメラーゼサブユニットファミリーに属します。サブユニット: 12 個のサブユニットからなる RNA ポリメラーゼ II (Pol II) 複合体の構成要素です。AATF と相互作用します。組織特異性: 普遍的に発現しています。心臓と骨格筋で高い発現が認められました。

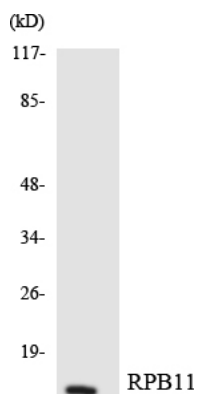
## 研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNA ポリメラーゼ、ハンチントン病、

## 画像データ



RPB11 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



RPB11 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。